



2021年11月20日 和歌山県由良町・白崎海洋公園にて由良町戦跡巡りに参加した大阪労山の仲間たち（撮影：九条の会ゆら事務局長・小田憲さん）

もくじ

- | | |
|--------------------------------------------|--------------------------|
| 1 Voice・画狂老人(まんじ)さんをご存じですか？
教育遭対部・大見7則親 | (八尾・笠井ふみ子) |
| 2ー3 11月度理事会議事録報告 | 13 山楽登山の世界45 (OWCC・中川和道) |
| 4 救助隊のページ | 14 事故一報 |
| 5ー6 女性委員会のページ | 15 とっておきの一枚、編集後記 |
| 7ー9 平和と登山のページ | |
| 10ー11 ポンポン山雑感・蛇谷ヶ峰
(高槻・三鍋敏郎) | |
| 12 六甲山を手話で深く知ろう、に参加して | |

当面の間、新型コロナウイルス感染防止のため、編集委員は集まらず印刷と配布は極力少ない人数で行うためB5・16ページの発行となりました。ご了承ください。(編集長 大西)

大阪府勤労者山岳連盟

☎ 553-0006 福島区吉野3-2-35 一般社団法人 大阪宣伝センター機関紙会館内

☎ 06-6467-8544 FAX06-6467-8545

画狂老人卍（まんじ）さんを御存知ですか？

突然何のこっちゃ？とお思いでしょうが、江戸時代末期の浮世絵師であり、彼の作品は誰でも見たことがあると思います。富士山の絵が有名ですよ。私は最後の作品「富士越龍図」が良いなと思います。彼の話はまた後ほど。

さて2021年は引き続き、新型コロナウイルスのせいで登山件数も少なく、そのおかげというか大阪労山の登山事故は激減しました。それは喜ぶべき事なのでしょうが、その反面、山岳活動が低調になり、登山技術の継承・研究できる力が削がれてしまいました。継続しなければ発展は無いと思います。

そんな中、大阪労山の過去20年の事故をまとめた**事故事例集が完成**しました。しかし、この本には事故をなくす「答」は書いてありません。不親切な本ですよ。自分で考えなきゃ「答」は出てこないし、正解も教えてはくれません。

事故対策は、まずは事故を知ることです（事実の把握）。そして原因の推定。原因もいろいろ考えられ特定が難しいかも知れません。その主な原因について対策案を決め（PLAN）、実行し（DO）、その対策案の効果があるか検証（CHECK）し、改善すべき事は改める（ACTION）。このサイクルを回すのが「答」だと思います。これができない会は、また事故を繰り返すと思います。

事故事例集は「事実の把握」の手段として活用し、皆様には**探偵になったつもりで、原因推定**そして**PDCA**を回して欲しいと思います。

さて卍さんの作品には富士山の絵が多く、特に有名なのが「**富嶽三十六景**」にある大波と小舟の向こうに小さく富士山が見える浮世絵が有名です。又の名を「葛飾北斎」と言います。80歳で火事に遭い全財産を無くしても絶望すること無く、江戸から240km離れた信州に4度も通い天井絵を描くという新しい事にチャレンジしました。江戸時代の人には珍しく90歳まで生きたのですが、「あと5年生きながらえたら達人になれる」と言ったとか。

大阪労山にも山狂〇人は多くいると思います。年齢は関係ないです。95歳で達人になりましょう。そして初夢は「一富士 二鷹 三茄子」。良いお年を

2021年11月度 理事会議事録報告

日時：2021年11月25日（木）19：00～ ZOOM&事務所
出席会：事務所：クラブ 3名、ZOOM：クラブ 10名 委任状：9クラブ
常任理事：事務所：6名（手話通訳含む） ZOOM:4名
進行：高橋理事長

◆全国連盟関連（大見事務局長）

- ・今年注文をOWAFで受け付けて発注します。切11/30 申し込み集約中
12/16 理事会に間に合うように納入
- ・全国ハイキングオンライン交流集会 11/27 高橋理事長・砺波常任参加（ZOOMも参加可能）
- ・主催者賠償保険・・・近畿ブロックで日程調整して西村さんを通じて保険の方に説明に来てもらう。
近畿ブロック MLに上記の旨送信（高橋）希望の連盟との日程調整をする
説明会に全国連盟も参加を要請してみる（高橋）
- ・栄誉功労章の贈与申請 2年に1回
栄誉功労章（大阪から4人推挙できる。切12/31 会から提案有れば受付ます
永年会員章（労山会員として20年以上在籍し現在でも会員である方、各会からの推薦になります）全国連盟のHP～申請できます。

◆組織部（浜田副理事長）

- ・来年度の各会組織数報告の提出について（11/17日現在）
21会/51会 組織数が減少の会が多いです。切12/16各会提出よろしくお願ひします。
- ・兵庫労山組織部との話し合い（コロナ後の組織拡大について）12/17日（金）

◆自然保護委員会（澤村常任）

- ・らいちょう・鳥獣目撃レポート
らいちょう 18件（6）10/1 現 鳥獣 11件（10） 昆虫 1件（1）目撃日時、場所、
天候と動物の様子をメール下さい。写真が有れば最高です。ただし標高500m以上での
目撃に限ります。お手元の情報出して下さい。 sawadesu@ares.eonet.ne.jp
倒木対策 4件（7）

◆子どもの冒険学校（大見事務局長）

- ・11/28(日) 子どものクライミング教室 吹田市立片山体育館
- ・2022/1/29(土) 冬の子どもの冒険学校 滋賀県大津市 イン谷

◆女性委員会（代笠井常任）

- ・近畿ブロック交流集会 11/6～7 山筋ゴーゴー体操講習会 参加者 35名
ハイキングも楽しみ、山筋ゴーゴー体操講習会にも参加し充実した2日間でした。
- ・12/5(日)委員交流ハイキング奈良県矢田自然公園

◆平和と登山（大西常任）

第50回戦跡ハイキング 和歌山由良町 軍事戦跡巡り&白崎海岸カルスト地形見学

11/20(土)参加者 25 名（うち大阪労山 12 名）楽しい有意義な 1 日でした。詳細については
労山ニュース 1 月号に掲載します。

◆教育遭対部（大見事務局長）

- 1) 事故事例集の勉強会 2 回目 12/6(月) 19 時 30 分～
中川さんに依頼する方法で調整中 講演ではなく意見交換を交えた勉強会にする
- 2) 冬山連絡会
12/16(木)理事会終了後の 20 時～事務所（定員 15 名）と ZOOM で開催
コロナは落ち着いているので、今年は気象：高田さん、事故全般：中川さん、
山小屋の状況：調整中
- 3) やぐらの所管
全国連盟の所管にはなっていなかった。引き続き調査を継続
- 4) 事故状況
今年の事故は 5 件。大阪労山への事故報告方法の改善が課題。必ず大阪労山にも報告
のこと。
- 5) スケジュール
 - ・中級 11 月末に今年度の総括。12 月スタッフ引継ぎ式と来年度に向けた打ち合わせ
 - ・救助隊 捜索訓練のマニュアルを作成中。雪山搬出訓練に向けて調整中
 - ・初雪/雪山縦走 11/14 スタッフ研修
 - ・技術委員会 やぐらの水平ビームの強度調査を 11/3 実施
実験結果は、労山ニュースで公開して欲しい→報告書作成（富永さん）
 - ・岩登り教室 春ごろに開催したい
 - ・2022 年度安全対策機器の申請 11/8 に資料提出。今週中に全国に申請の予定（大西）

◆障登 PT(山下常任)

- ・聴覚障がい者向けの事故事例種の勉強会
1/19(水)19:00～21:00 労山事務所 定員 10 名くらい詳細は労山ニュース又は owaf
メールにて。聞こえない方が居れば紹介してください。
- ・雪山入門ハイキング 日程 2/6 予定 場所は未定決まり次第連絡します

◆事務局（大見事務局長）

11/27(土)17:00～ ブレーンストーミングを開催します。（事務所と ZOOM）
大阪労山の今後について、登山学校のあり方について自由に意見交換。ざっくばらんに
話しあいたい。

記：笠井

来月の理事会&冬山連絡会は 12 月 16 日（木）19 時～

<救助隊のページ>

大阪労山の会員の皆様

大阪労山救助隊の 2022 年雪山搬出訓練のお知らせです。

***** 雪山搬出訓練のご案内 *****

日 時 : 2022 年 1 月 23 日 (日) 8:00~14:00 頃

集合場所及び前泊場所: 正面谷のトイレ付近 (イン谷口上部) の駐車スペース

内 容 : 雪崩事故発生時のビーコンを使った埋没者の捜索方法・掘り出しと搬出。その他の訓練を予定。

参加対象 : 救助隊員に限りません。労山会員ならどなたでも参加できます。
ただし、参加内容につきましては経験・技量に応じてこちらで判断させていただきます。

注意事項 : 自己の安全を確保できる方に限ります。訓練中の怪我は、自己責任となります。ご了解の上ご参加願います。
ビーコンの操作方法はお教えしません。操作方法是事前に習得しておいてください。
コロナウイルス感染症の流行状況により訓練が中止となる可能性もあります。

持 ち 物 : 12 本爪アイゼン、ビーコン、スコップ、ゾンデ棒、スノーソー (刃先 30 cm の所にテープで印をつけておく)、ハーネス、ヘルメット、ピッケル or ストック、冬山装備一般、登攀装備、可能な方は無線機をお願いします。宿泊する方は宿泊道具など。
※訓練用のシートが不足しています。不要なテント、ツェルトの寄付も募ります。

申し込み先 : 1 月 15 日までに下記内容を記載のうえご連絡ください。
メールアドレス : owaf.rescue@gmail.com
メールの件名 : 「雪山搬出訓練参加」
内容 : 氏名・所属会・連絡先・住所・生年月日・血液型・緊急連絡先

※1 月 22 日(土)は、救助隊員対象の雪山救助訓練を行いますので、救助隊員の方はあわせてご参加下さい。詳細は追って案内致します。(コロナ対策: テント持参をお願いしています)

雪山搬出訓練担当: 松本、近藤

▲ △ 女性委員会 ページ △ ▲

2021年 12月 6日

委員の交流ハイキング：矢田自然公園（奈良県）

12月5日(日)、日頃女性委員会は殆んど行事の取り組みや例会が続居ており、普段のねぎらいと学習を兼ねて参加者8名で奈良県の矢田自然公園に行ってきました。



管理事務所横の東屋で、暖かい汁物に舌鼓、ビンゴゲームで盛り上がり楽しみ、遊ぶだけでなく学習もしようと近藤和代さん指導のもとロープワークの入門編を少々・・・ダブルフィッシャーマン、落下防止：プルージック、ツエルトの張り方、下降の練習など学習しました。



これからも委員会としては1つでも学習の場を広げ少しずつ習得しようと思っています。

参加者の感想です

- * 日頃使用しないロープワークやツエルトの張り方などに接する事が出来て本当に良かったです。1つでも頭の片隅に残して置ければと思います。
- * 昼食がとても美味しくゲームは楽しいし、皆さんのデザートも豪華で嬉しかったです。食後のロープワークでダブルフィッシャーマンが2回上手く出来たのが嬉しかったです。またこのような機会があれば参加したいです。



- * 美味しく楽しい一日でした。久々にロープワークの基礎をお互いに思い出しながら有意義なひととき。歩行時間は短いながら有意義な1日ありがとう!!
- * 久しぶりに女性委員だけのハイキングに参加しました。ビンゴゲームにワクワクし美味しい徳島の郷土料理を頂き、美味しい別腹も頂き、ハイキングレスキューの講習会にも参加出来て良かったです。
- * ゆっくり、のんびり山道を歩いたあとのご馳走!!お腹が温まりました。
- * 交流会、プチ講習会、短い時間でも工夫すれば充実した時間の使い方が出来て良かったです。
- * 自由が利かない身体どうしようかと思いましたが参加して本当に良かった。紅葉の中ゆっくり歩いて貰いありがとうございました。笠井さん昼食の用意からその他の皆様からの差し入れ本当にありがとう。参加出来て本当に良かったです。

第26回女性のための登山教室

第26回 女性のための登山教室に向けて只今
準備中 ♪ ♪

これから登山を始めたい方向けの講座です。

2022年3月17日(木)第1回座学

募集人数 15名

チラシ200枚出来上がっています

周辺への声掛け、チラシの活用へのご協力等
よろしくお願いたします。



第 50 回戦跡ハイキング

和歌山県由良町の戦跡巡り 2021 年 11 月 20 日（土）

コロナ禍で中断していました戦跡ハイキング（戦跡巡り）を 2 年ぶりに実施しました。今回の戦跡巡りは和歌山県由良町、「九条の会ゆら」の会員の方たちと風光明媚な由良湾を周遊することができました。有意義な楽しい戦跡巡り、今回は由良町の池本護さん（前和歌山県立高校教諭）と小田憲さん（九条の会ゆら・事務局長）に大変お世話になりました。池本さんとは 1 年前から何度かお会いし、由良町の戦跡のことや由良町で取り組んでおられる平和学習について教えていただきました。池本さんはアルピニストで、この日の巡検めぐりの前には池本邸でネパールやヨーロッパアルプスなどの山への想いを語っていただきました。また、池本さんは地学の研究者でもあり、白崎海岸のカルスト地形についても話題が豊富でした。小田さんには戦跡巡りの資料を編集していただき当日には由良湾の戦跡を案内していただきました。九条の会ゆらの方にも呼びかけられ、総勢 30 名の和やかな楽しい巡検の一日となりました。

* 由良町の戦跡巡りのコース

由良町池本邸…由良町公民館（海防艦 30 号空襲の映画鑑賞）…由良町役場（紀伊防備隊本部跡石碑）…阿戸（大谷爆薬庫群跡）…糸谷（海防艦 30 号の激戦跡、海防艦戦死者供養塔）…神谷（特別攻撃隊「震洋」の格納トンネル後群）…特攻兵器「伏竜」訓練地跡…白崎海洋公園（白崎回転基地跡）…平佐館にて昼食…興国寺（平和の塔）…帰阪

* 参加者

大阪労山（きたろう、福島、吹田、豊中、つりばし、KONK、泉州、元ニコニコ）12 名
由良町、九条の会ゆら・日高平和委員会 18 名



池本護さんに由良町の戦跡について語っていただいた



小田憲さんに大谷爆薬跡で説明をしていただく

由良戦跡巡りの感想 豊中労山・南埜知代

11月20日、晴天に恵まれ和歌山県の由良町の戦跡ハイクに参加できました。事前に資料が配布されていたので、当日の解説もよくわかりました。資料作成して下さった池本護氏は6000m級の山に登られているアルピニストです。当日ガイドして下さったのは由良町九条の会の小田憲でした。

由良町の軍事遺跡は、1940年に造られた紀伊防備隊関連の軍事遺跡と、1945年前後に造られた連合軍接近上陸を阻止するために造られたものに2分されるということです。見学しながら 私には2つの思い出が重なりました。

私は小学校4年生で終戦を迎えました。当時も今も堺市に住んでいます。(堺市の郊外なので直接爆撃の被害は受けませんでした)。1944年、1945年ごろ、B29が紀伊水道方面から現れて京阪神を爆撃するとまた紀伊水道を通過して去っていくというニュースをラジオで聞いたり、実際見たりしました。友ヶ島もこの由良町もそのルートにあっての防備隊、軍事施設であって、私達の住む京阪神を守る役割をしてくださっていたのだとわかりました。

あと1件は、1944年7月、由良港に配備されていた海防艦30号が撃沈されたことです。ロッキードP51戦闘機8機で次々と攻撃を受け、後日は4機の攻撃で甲板からほとんど全員が吹き飛ばされたりして修羅場と化したということです。米軍が写したそのときの写真を資料でも見たときに、私は亡兄を思い出し胸がいっぱいになりました。兄は小笠原島近くの海でやはり上空からの爆撃を受け、艦からは火柱が上がっていたとのこと、ずっと後になって知りました。20歳でした。もちろん遺体は引き上げられることなく海の藻屑になったままです。

戦争を知る私達の世代は戦争の実態をまだまだ強く伝えなくてはならない、風化させてはならないと改めて思っています。そんな想いを漢詩に創りました。拙作ですが読んでいただくと幸いです。

由良町九条の会の皆様ありがとうございました。

園敏雄さんの感想（『日高新報 2021.11.21』より転載）

『日高新報』には、神戸市から参加した園敏雄さんは「こういった戦跡を広く知ってもらって、たくさんの人に戦争の恐ろしさを感じてほしいとおもいました」と話していた、ことが掲載されていました。

由良町・「ねんきん日高」より転載

由良町の戦跡巡りの報告—海の特攻「伏竜」・「震洋」・「回天」訓練地としての由良—先日11月20日（土）大阪の勤労者山岳連盟の方々12名と地元からは18名合わせて30名の参加者がありました。最初9時30分から由良町中央公民館で昭和20年7月28日米軍機が由良湾内の重山近くに停泊している海防艦30号を機銃掃射している痛々しい映像を鑑賞した後、役場庁舎前の紀伊防備隊跡の石碑—阿戸の大谷弾薬庫跡—糸谷の海防艦撃沈慰霊碑—釣り公園の由良湾を左に特攻「伏竜」訓練海岸を見ながら—神谷の特攻「震洋」格納トンネル跡—白崎海洋公園の特攻「回天」格納出撃トンネル跡と巡り、予定通り12時30分頃終了しました。大阪からの方は糸谷の平佐館で昼食をとり興国寺の平和の塔と戸津井の鍾乳洞を見学して帰路につきました。地元由良のこうした貴重な遺跡を再確認できました。

訪由良港戦跡

南 埜 知代

釣客寛閑秋碧波
戦時軍港若修羅
怨嗟霊魄深沈積
莫忘伝承惟偃戈

【語意】

寛閑Ⅱ広くゆったりしている

怨嗟Ⅱ恨み嘆くこと

偃戈Ⅱ武器を捨て戦争をやめる

【詩意】

十一月の好日、和歌山県日高郡由良町の戦跡を訪れた。由良港での激戦の跡が一番心をとらえた。そのときの思いを詩にした。

由良港の波は静かで、釣り客はのんびりと釣りを楽しんでいる。しかし七十余年前の戦時、ここは軍港で防備隊があり修羅場のごとき戦場であった。亡くなった人の悲しみ嘆きの魂は、まだ海の底深く沈んでいるように思える。悲惨な過去の事実、非戦の思いを次世代へ伝承することを忘れてはならないと改めて思う。

由良港戦跡を訪れる

ちようかく

釣客は 寛閑なり 秋の碧波

かんかん

へきは

戦時の軍港 修羅の若し

えんざ

ちんせき

怨嗟の霊魄 深く沈積す

えんざ

ちんせき

忘るる莫れ伝承 惟は偃戈

な

おそい

えんか

2021年10月26日

三鍋敏郎

京都から国道367号線を朽木に向かって走ると、朽木大野に安曇川に架かる桑野橋があるが、橋の手前右手に小集落があり、集落に入っただけで車道が南南西方向に伸びているのでそれを進むと集落の切れ目に登山届のボックスがある。登山届を入れてジグザクの林道を上がると、標高500m手前に「きのこ研究所」の建物が見えるが、現在の活動状況は不明。

建物からすぐの500m小ピーク手前が林道の終点となるので、回転の邪魔にならない辺りに車を停める。この桑野橋からの登山ルートは1979年に、朽木



山行会会長の中野氏が中心となり真夏の炎天下に切り開かれたと、近江百山之会編著の本「近江百山」に記されている。

林道終点登山口に道標があるのでそれにしたがって進むと、植林地の中に道が続く。この辺りには赤松が多くあるが、おそらく「きのこ研究所」はマツタケの人工栽培の研究所だったと思われる。しかも、大野集落から研究所まで舗装されているので、公的な研究資金の提供があったものと推察される。

登山道はやがて自然林となり、踏み跡は薄くなるが、古いテープがあるの

でそれを頼りに歩くと猪の馬場（しし）の表示。おそらく標高 547m 辺りの広場だろうが、自然林に囲まれた動物たちの運動場といった風情がある。

標高 620m の尾根に乗ると、コナラ、ミズナラやコシアブラ、イヌシデなどの自然林の穏やかな尾根歩き。途中何箇所か急斜面になるが長くは続かない。

天狗の森と呼ばれる標高 850m 辺りにはシャクナゲの木やトクワカソウがたくさんあるので花の時期には楽しめるだろう。



標高 880m のピークには反射塔があり、少し進むと西峰（西小椋栖山）オグラスに着く。西峰山頂からササなどを掻き分けて進むと、アキノキリンソウの鮮やかな黄色が目にも染みるが、個体数が極端に少なく寂しい限り。西峰とのコルから標高差 50m ほど登ると芝生に覆われた蛇谷ヶ峰の山頂に到着する。晴れていれば琵琶湖の竹生島から伊吹山、鈴鹿山脈などが見られるが、本日はガスに塞がれている。時折強風が吹くと安曇川辺りの田園風景がちらりと見える。

山頂は寒風が吹き抜けるので、西峰あたりまで引き返す。ガスの切れ目から安曇川の対岸にある山々や琵琶湖がドラマチックに見え隠れしている。

電波塔の手前でランチタイム。季節外れのスマレの花が数株咲いている。

下記のコースタイムは実際の歩行時間より往復 1 時間強のロスタイムがある。理由としては、私達は秋の季節の實りに、溺れ流されていたせいである。誤解のないように断っておくがマツタケではない

★メンバー 三鍋 他 3 名

★コース 林道終点 8:42～P 791m 9:55 発 10～西オグラス 10:45～蛇谷ヶ峰 11:00

「六甲山を手話で深く知ろう」に参加して

報告：八尾山の会笠井ふみ子

11月27日(土)

鈴蘭台～石井ダム～妙号岩～どんぐり公園～君影ロックガーデン～イヤガ谷東尾根～鳥原貯水池～立々畑ダム～長田 歩行5時間

好日山荘と手話山岳ガイドのコラボで六甲山を手話で深く知ろうに参加して来ました。山岳ガイド2名、手話通訳、スタッフ、聾の参加者全部で12名。

妙号岩はクライミングの場所のようで登ってる人が見えました。登ってる人の横の岩には文字が彫ってあったが難して読めなかった。



石井ダムは全国でも珍しい多目的ホールが設けられていて階段の下は散策路にもなっている、上から見ると目眩がするほど大きなダムで最近ではダムめぐりが流行ってるらしくて平日ならダムカードが貰えるようだが残念、今日は日曜日で事務所は閉まっていました。

君影キャニオンからの登りは結構な傾斜で標高は低いですが急岩と岩場が20分程続き登り応えが有った。ロックガーデンは、もっと大きいと思っていたが上は意外にこじんまりしていたが見晴らしは抜群でした。目の前は菊水山その向こうは神戸の街並みや海が・・・。

イヤガ谷東尾根の下りは滑りやすく慎重に下ってきた。山岳ガイドが途中紫式部の実が食べれると教えてくれ騙されたと思いながらも噛んでみたら甘かった。他にも色々植物教えてくれたが覚えきれなかった。鳥原貯水池の周りには一面紅葉一色、本当に見事でしたがその中でも紅葉の巨木は圧巻でした。

本日のコースは場所も地図では一番端っこでマイナーな場所なので行けて良かったです。それよりも私の下手な手話もどうにか通じ相手の言ってることは分かるけど手話単語が中々出て来ないので指文字も交えて1日聾の方とコミュニケーション取れたことが嬉しかったです。こういう企画が有れば再度参加したいです

パミール 6600mのブロッケンが バイカル湖へと導く

OWCC 中川和道 20211209

ブロッケンには数回出会った。2 度目がもっとも強烈だった。それを書こう。

大学でワングル部にいた中川は本で読んだブロッケンに大なる憧れを抱いて育った。ウィンパー「アルプス登攀記」には 3 本の十字架を伴う教会のアーチのブロッケンが霧に浮かぶ挿絵があり、神の啓示に打たれるウィンパー隊が描かれている。新田次郎の小説「槍ヶ岳開山」では、ブロッケンの虹に仏の光輪を見た播隆上人が仏教の神髄に打たれる。ところが、中川の 2 度目の体験は、まったく違った。

1984 年 7 月 31 日 23 時、中川は高度約 6600m 地点をよろよろと下っていた。旧ソ連邦パミール山群コルジェネフスカヤ峰 7105m を登頂して雪稜を下山中のことだ[1, 2]。地平線に沈もうとする太陽がほとんど真横から雪稜を薄橙色に染めていた。日陰側から雲が湧き、そこにブロッケンが現れた。6600m のブロッケン・・・ちょっと魅惑的に聞こえるかもしれない。上述した小説の神様や仏様を、中川はもちろん思い出した。しかし、「ここで仏になってたまるかい！」という実利的な感情が湧きおこり、それの方が素直に強かった。

何故だろう。まず時差に惑わされていた。現地の緯度は 38 度で東京と大差ないが地軸の傾きと時刻設定域がとてつもなく広いせいだろうが、現地の当時の日出は 8 時、日没は 24 時。頭がおかしくなるような大きな時差だ。面食らっていた。第 2 に高所障害だ。1 回目の登頂とは隊員全員にとって初めての高度であり、すなわち全員がその高度には不順応の状態である。さらに中川は 6400m で引返す決断を近藤和美隊長に申し出たのにそれを翻して登頂したという規律違反だったから、ほぼ極限まで消耗していた。ブロッケンを見て「ここで仏になってたまるかい！」との思いをいただいたのにはこういう理由があった。中川と今井は 6400m まで下ったところでソ連のサポート隊のテントに転がり込んだ。近藤隊長が依頼して下さっていたのだ。迷惑をかけた。

この話には後日談が続く。ソ連サポート隊で献身的に助けて下さったユーリさんはその後イルクーツクでバイカル湖のアドベンチャー旅行会社を立ち上げられた。後を継いだご子息が宣伝のため 2019 年に日本を訪れ、中川は神戸 灘の酒と日本料理で交流し幸せなひと時を過ごした。コロナがおさまったらぜひ訪問し、手を握ってお礼を言いたい。シベリア鉄道のあの巨大な蒸気機関車が今は観光列車となって、まだバイカル湖周辺を走っていると聞いた。ぜひ乗ってみたいと願っている。

パミール 6600m のブロッケンが中川をバイカル湖へと導いている。



八ヶ岳横岳西壁にて。2015 年 12 月 12 日。

文献[1] 中川和道「クロニクル パミール国際キャンプ '84」山と仲間、1985 年 1 月号、p.110。

文献[2] 近藤和美「ユーラシア大陸ひとり山の旅」山と仲間、1985 年、186 号-190 号。

労山基金運営委員会 宛

事故一報

提出日 20 年 月 日

提出者会員番号: _____

氏名: _____

地方連盟 _____ 勤労者山岳連盟

団体名: _____ 団体番号: _____

フリガナ

事故者氏名: _____ 会員番号7桁: _____

年齢: _____ 歳 性別: _____

労山基金登録口数: _____ 口

事故発生日時: (西暦) 20 年 月 日 時 分 積雪期/無雪期

事故発生場所 山域: _____ 都道府県: _____

山名: _____ (標高: _____ m)

場所: _____

山行の形態: 無雪期登山 積雪期登山 登攀 冬季登攀 沢登り 氷瀑 人工壁 山スキー
クロスカンリースキー スノーボード 海外トレッキング 海外登山 訓練

事故の原因: 転・滑落 転倒 落石(落氷) 道迷い 病気 凍傷 高度障害 火傷 落雷
雪崩 虫・動植物 荒天 その他()

パーティー人数: _____ 人

救助捜索費: あり なし (どちらかにチェックを付けて下さい)

事故の状況: _____

傷病名: _____

交付の申請を: する しない 未定

交付申請書の送付先: 基金担当者 パーティリーダー 会・クラブ代表者 その他

送付先

会員番号 _____ 氏名 _____ Tel _____

住所 〒 _____

★交付申請は、事故一報が**事故発生日から30日以内**に運営委員会に届いていなければできません。時効で交付資格を失わない為に、いま症状が現れていなくても、また交付の申請をするか判明しない時でも、事故発生の報告をしましょう。FAX 03-3235-4324 メール kikin@jwaf.jp

★事故一報と共に会に提出し受理された山行計画書のコピーを添付して下さい。

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24 労山基金運営委員会 フリーダイヤル 0120-44-2742(平日 10~18時)

この用紙は日本勤労者山岳連盟のHP「労山基金」から「各種申請書」をクリックで事故一報用紙をダウンロードできます。そこには事故一報送信フォームもありますので直接送信もできます。
大阪労山へもFAXもしくは右記のアドレス宛に送信ください。RXR00152@nifty.ne.jp

とっておきの1枚 八尾山の会・笠井ふみ子



11月28日(日)例会：京都朝日峰

登山道で鹿の白骨を見つけました。原形がそのままで凄く綺麗でした。他の人も滅多に出くわさないだろうと思い投稿しました。

編集後記

綾部市睦寄町に古屋という集落があります。古屋は過疎化で人口が減少して、今は2軒3人の集落になりました。この集落を守っていこうということで、今から15年ほど前から綾部市が中心となって「古屋でがんばろう会」が結成されました。このがんばろう会は古屋の土地の整備や栃の実拾いなどのボランティア活動があります。11月27日が今年最後の行事で、薪割り、栃の餅つき、望年会がありました。もちろん主役は古屋のお母さんたち、その一人の渡辺さんは虎歳で来年96歳になるそうです。今も現役で、その長寿の秘訣をお聞きしましたら、「畑仕事をする、何でも食べる、くよくよしない：」と仰いました。やはり人間で大切なことは、平凡でも常に手足を動かしていく、食事をしっかりとっていく、ということでしょうか。(大西)

今月も各会より会報を送っていただきました。

安治川山の会ニュース(安治川山の会)、やまなかま(泉州労山)、きたろうニュース(きたろうHC)、にしよど(西淀労山)、ぽんぽん山(高槻)、こもれび通信((山の会こもれび)、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙(鹿児島労山)、兵庫労山会報、県連ニュース(和歌山労山)

発行日 2021年(令和3年)12月13日 No.431

編集・発行 入澤、笠井、園、高橋、中井、中尾、大西清